

小学校児童とマンガ，テレビアニメ番組

池山和子・坂本英紀

(1995年10月16日 受理)

How The Children are Concern with Manga and TV-animations

KAZUKO Ikeyama and HIDENORI Sakamoto

I. はじめに

現代の子供の生活の中で，マンガや雑誌をみたりテレビを見るという時間の使い方はますます割合が大きくなってきている。そしてマンガや雑誌は書店の書棚の大きな部分を占め，テレビでは毎日アニメ番組が放映されている。一方こうしたマンガやテレビ番組はその移り変わりが激しい。童話や児童文学など子供のための“お話”といわれるものの中には，時代，空間を超えて長く広く子供たちに受け入れられ続け，今後も残っていくであろう古典とでもいうべきものが数多くある。また，その中には本来子供を意図して作成されたものではないものも多く，本田¹⁾はこの童話化の現象を調べることによって子供に受け入れられる“お話”の性格を浮きあがらせている。マンガ，アニメと言われるものの中にも，息の長い誰もが名前を知っているような，例えば「サザエさん」や「ドラエもん」などがあり，時代を超えて自然に受け継がれていく様子が見えてきているようである。あるいは，マンガやアニメはある時代の子供たちを楽しませることができれば一つ一つが長く残る存在であることが必ず良いとも断定しきることも現在ではできないように思われる。やがて変化するにしてもその時代をよく反映するところにその特徴があるものであるということも考えられる。いずれにしても子供に取り入れられるマンガやアニメはどのような性質を備えているのかをさらに明らかにしていきたいと考えている。筆者ら²⁾は幼児期についてテレビが生活の中にどのように取り入れられているかを調査してきたが，引き続き小学校年齢の子供たちの様子を特にマンガ，アニメに焦点を当てて考察を行った。

II. 方 法

小学校1，3，5学年に在学する児童を対象にその保護者に質問紙調査を実施したものである。児童に対しても同時に質問紙調査を実施しているが，今回は保護者を対象とした調査結果のみを考

察する。

- (1) 対象：鹿児島市内の一公立小学校1, 3, 5年生の児童の保護者
- (2) 調査時間：平成6(1994)年11月
- (3) 手続き：質問紙を各学級の担任を通じて配付，回収した。
- (4) 質問紙の内容：大きく分けて①児童のマンガ，雑誌，アニメーションの講読と視聴などに関する質問部分，②保護者自身が子供の頃の様子に関する質問部分，③比較しての感想を問う質問の3つよりなる。今回の質問紙では保護者自身の児童との続柄，性別等については問わなかったため不明である。

II. 結果および考察

(1) 回収率と考察対象児童の性別および学年割合

全体の回収率は90.6%であった。考察の対象とした児童の学年別および性別構成比を〔表1〕に示す。

	人 (%)		
	男 児	女 児	NA 計
1年生	45 (28.1%)	59 (33.0%)	104 (30.6%)
3年生	57 (35.6%)	56 (31.3%)	113 (33.2%)
5年生	58 (36.3%)	64 (35.8%)	1 123 (36.2%)
計	160 (47.1%)	179 (52.6%)	1 340 (100.0%)

(2) マンガおよび雑誌の講読状況

〔表2〕～〔表7〕は，雑誌の講読とその読み方，マンガ単行本を読む量について，学年別と性別でクロス集計した結果である。(以下クロス集計したものについては χ^2 検定を行い，有意差のみられた場合は χ^2 値と有位水準を5%あるいは1%以下で示す。)

雑誌の講読の仕方や読み方，マンガ単行本を読む量について，それぞれ選択肢を用意して回答を求めたが，性別による明確な傾向は見られない。学年別にみると，高学年になるに従って購入した雑誌をしっかりと繰り返し読む割合が高まり，低学年では本体よりも付録の方を楽しみにしている児童の割合が高学年に比べ高い。また，マンガ単行本を読む冊数も高学年の方が高い。

	人 (%)				
	継続講読	書店で見て 月1冊以上	友人と貸し 借りして	殆ど読ま ない	その他
1年生	20 (20.6%)	31 (32.0%)	2 (2.1%)	29 (29.9%)	15 (15.5%)
3年生	29 (28.7%)	37 (36.6%)	5 (5.0%)	20 (19.8%)	10 (9.9%)
5年生	38 (38.0%)	22 (22.0%)	6 (6.0%)	24 (24.0%)	10 (10.0%)
計	87 (29.2%)	90 (30.2%)	13 (4.4%)	73 (24.5%)	35 (11.7%)

NA=42

〔表3〕雑誌の購入 性別

	継続講読	書店で見て 月1冊以上	友人と貸し 借りして	殆ど読ま ない	その他
男児	39 (28.1%)	46 (33.1%)	5 (3.6%)	38 (27.3%)	11 (7.9%)
女児	48 (30.4%)	44 (27.8%)	8 (5.1%)	34 (21.5%)	24 (15.2%)
計	87 (29.2%)	90 (30.2%)	13 (4.4%)	72 (21.2%)	35 (11.7%)

NA=42

〔表4〕購入した雑誌の読み方 学年別

	全部繰り返 し読む	気に入った 部分を読む	連載マンガ のみ見る	付録の方を 楽しむ	その他
1年生	37 (42.5%)	19 (21.8%)	3 (3.4%)	26 (29.9%)	2 (2.3%)
3年生	62 (63.3%)	16 (16.3%)	5 (5.1%)	9 (9.2%)	6 (6.1%)
5年生	75 (71.4%)	12 (11.4%)	7 (6.7%)	9 (8.6%)	2 (1.9%)
計	174 (60.0%)	47 (16.2%)	15 (5.2%)	44 (15.2%)	10 (3.4%)

 $\chi^2=31.86$ df=8 P<0.01 NA=50

〔表5〕購入した雑誌の読み方 性別

	全部繰り返 し読む	気に入った 部分を読む	連載マンガ のみ見る	付録の方を 楽しむ	その他
男児	84 (62.2%)	26 (19.3%)	8 (5.9%)	14 (10.4%)	3 (2.2%)
女児	90 (58.1%)	21 (13.5%)	7 (4.5%)	30 (19.4%)	7 (4.5%)
計	174 (60.0%)	47 (16.2%)	15 (5.2%)	44 (15.2%)	10 (3.4%)

NA=50

〔表6〕マンガ単行本を読む量 学年別

	週に6冊以 上	週に3~5 冊くらい	たまに1, 2冊程度	殆ど、全く 読まない	その他
1年生	0 (0.0%)	4 (3.9%)	55 (53.9%)	40 (39.2%)	3 (2.9%)
3年生	7 (6.3%)	14 (12.6%)	62 (55.9%)	21 (18.9%)	7 (6.3%)
5年生	4 (3.4%)	29 (24.4%)	74 (62.2%)	8 (6.7%)	4 (3.4%)
計	11 (3.3%)	47 (14.2%)	191 (57.5%)	69 (20.8%)	14 (4.2%)

 $\chi^2=53.55$ df=8 P<0.01 NA=8

〔表7〕マンガ単行本を読む量 学年別

	週に6冊以 上	週に3~5 冊くらい	たまに1, 2冊程度	殆ど、全く 読まない	その他
男児	8 (5.2%)	24 (15.6%)	85 (55.2%)	30 (19.5%)	7 (4.5%)
女児	3 (1.7%)	23 (13.0%)	106 (59.9%)	38 (21.5%)	7 (4.0%)
計	11 (3.3%)	47 (14.2%)	191 (57.5%)	69 (20.8%)	14 (4.2%)

NA=8

(3) テレビアニメの視聴の様子

調査時期に鹿児島市内で放映されているテレビアニメーションの名前を具体的に31番組挙げ、それぞれの番組について、子供が「とても楽しみにしていて毎回必ずみているもの」を◎、「たまたま時間があったりすれば見るもの」を○、「見ていないもの」は×、のいずれかで回答するよう求めた。学年別と性別のクロス集計結果をそれぞれ〔表8〕と〔表9〕に示す。学年別の結果で有意差のみられた番組は31中12番組である。「毎回必ず楽しみにしている」割合の全体に人気の高い「サザエさん」「クレヨンしんちゃん」「ドラエもん」「セーラームーン」についても1, 3, 5と学年が高くなるに従ってその割合が少なくなっている。「ヤマトタケル」「幽遊白書」は他の学年に比べ3年生に人気が高い様子が特徴的である。「マクロス7」を毎回必ずみているのは5年生のみであった。

男児と女児で有意差のあった番組は31番組中か17番組であり、男児の方により好まれている割合の高いものが11番組、女児に人気の高い番組が6番組である。ただしそれぞれ番組で◎の回答の割合は異なるもののどの番組も全体として男児も女児にも人気の高い傾向は伺える。それぞれのアニメ番組の性格を捉えるためにまず手始めに分類化を試みたいが、男児にあるいは女児に受け入れられるものとして分類すると実態とはずれが生ずる。そこである一人の子供が見ている番組にはその子供の好みを反映しているという意味で親近性が高いと考え、数量化Ⅳ類によってグループ分けを試みた。その結果が〔表10〕と〔図1〕〔図2〕である。さらに時代的な変遷の比較のため、保護者が子供のころに視聴していたと考えられる(1960年代に放映された代表と考えられるテレビアニメ番組を27挙げ、保護者自身の視聴状況を思い出して回答してもらい、その回答を同じく数量化Ⅳ類にかけた結果が〔表11〕と〔図3〕〔図4〕である。

現在放映されているアニメ番組については、「31ヨーヨーの猫つまみ」「4マクロス7」がまず他の番組と異なっていると考えられる。この2つを除いた番組についてみると「25セーラームーン」「30レイアース」「26ママレード・ボーイ」「8姫ちゃんのリボン」が連なりながら全体のグループから距離がある。「28巨人の星」「16キャプテン翼」「17となりのたまげたくん」もその反対の位置で連なっているが、「セーラームーン」を始めとするグループより全体に距離が近い。生活の中で様子を見てみると、女児の中には明瞭に女児らしい性格の番組のみを視聴し、男児向けの番組はまずみない、あるいは男児も女児向きのある種の性格の番組は殆どみないのに対し、女児の中には女児向けの番組も見るが男児向けの番組も見る、また女児向けの性格のものはあまり見ないで男児向けのものをよくみるという幅が女児の方にあるように感じられることがあるが、この結果はこうして生活実感と一致しているとも考えられる。保護者の子供のころのアニメ番組の視聴に就いてみると「24サザエさん」が他の番組から一つ大きく離れている。次には「21どろろ」「17サブとイチ捕り物控え」が位置からみて一つのグループとして括することができる。

〔表8〕テレビアニメ番組の視聴状況 学年別

	1 年 生			3 年 生			5 年 生			NA
	みていない	時間による	毎回必ず	みていない	時間による	毎回必ず	みていない	時間による	毎回必ず	
おんぶおばけ	74 (85.1%)	12 (13.8%)	1 (1.1%)	91 (88.3%)	12 (11.7%)	0 (0.0%)	96 (93.2%)	7 (6.8%)	0 (0.0%)	47
とんでぶーりん	50 (53.8%)	29 (31.2%)	14 (15.1%)	44 (42.3%)	41 (39.4%)	19 (18.3%)	61 (57.0%)	31 (29.0%)	15 (14.0%)	36
ヤマトタケル	58 (63.7%)	32 (35.2%)	1 (1.1%)	52 (49.5%)	42 (40.0%)	11 (10.5%)	73 (68.9%)	28 (26.4%)	5 (4.7%)	38 $\chi^2=14.28^{**}$
マクロス7	88 (98.9%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	96 (94.1%)	6 (5.9%)	0 (0.0%)	96 (89.7%)	8 (7.5%)	3 (2.8%)	42 $\chi^2=9.91^*$
ドラゴンボール	36 (38.3%)	49 (52.1%)	9 (9.6%)	37 (35.2%)	56 (53.3%)	12 (11.4%)	32 (29.9%)	61 (57.0%)	14 (13.1%)	34
サザエさん	4 (3.8%)	71 (68.3%)	29 (27.9%)	7 (6.5%)	67 (62.0%)	34 (31.5%)	20 (17.5%)	60 (52.6%)	34 (29.8%)	14 $\chi^2=14.75^{**}$
ドラゴンボールZ	24 (25.0%)	49 (51.0%)	23 (24.0%)	20 (18.7%)	50 (46.7%)	37 (34.6%)	28 (24.8%)	42 (37.2%)	43 (38.1%)	24
姫ちゃんのリボン	50 (53.2%)	38 (40.4%)	6 (6.4%)	46 (44.7%)	53 (51.5%)	4 (3.9%)	63 (57.8%)	37 (33.9%)	9 (8.3%)	34
キャプテン翼J	56 (59.6%)	29 (30.9%)	9 (9.6%)	53 (50.5%)	28 (26.7%)	24 (22.9%)	61 (53.5%)	31 (27.2%)	22 (19.3%)	27
母を尋ねて三千里	72 (78.3%)	19 (20.7%)	1 (1.1%)	83 (81.4%)	17 (16.7%)	2 (2.0%)	92 (86.8%)	12 (11.3%)	2 (1.9%)	40
ドラゴンクエスト	73 (81.1%)	15 (16.7%)	2 (2.2%)	70 (67.3%)	32 (30.8%)	2 (1.9%)	84 (79.2%)	17 (16.0%)	5 (4.7%)	40 $\chi^2=9.77^*$
幽遊白書	54 (59.3%)	29 (31.9%)	8 (8.8%)	39 (37.1%)	43 (41.0%)	23 (21.9%)	35 (32.1%)	47 (43.1%)	27 (24.8%)	35 $\chi^2=18.78^{**}$
ツヨシしっかりしなさい	17 (17.0%)	61 (61.0%)	22 (22.0%)	16 (15.1%)	57 (53.8%)	33 (31.1%)	29 (25.7%)	47 (41.6%)	37 (32.7%)	21 $\chi^2=9.99^*$
キテレツ大百科	16 (16.3%)	59 (60.2%)	23 (23.5%)	17 (15.9%)	62 (57.9%)	28 (26.2%)	29 (26.4%)	56 (50.9%)	25 (22.7%)	25
七つの海のティコ	23 (23.5%)	41 (41.8%)	34 (34.7%)	27 (25.5%)	40 (37.7%)	39 (36.8%)	38 (34.2%)	42 (37.8%)	31 (27.9%)	25
キャプテン翼	52 (56.5%)	31 (33.7%)	9 (9.8%)	54 (52.4%)	35 (34.0%)	14 (13.6%)	64 (58.2%)	35 (31.8%)	11 (10.0%)	35
となりのたまげ太くん	84 (94.4%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)	94 (94.0%)	6 (6.0%)	0 (0.0%)	103 (98.1%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	46
クレヨンしんちゃん	4 (3.9%)	24 (23.5%)	74 (72.5%)	9 (8.2%)	32 (29.1%)	69 (62.7%)	23 (19.7%)	37 (31.6%)	57 (48.7%)	11 $\chi^2=19.98^{**}$
クッキングパパ	3 (2.9%)	46 (45.1%)	53 (52.0%)	12 (10.9%)	43 (39.1%)	55 (50.0%)	23 (20.0%)	54 (47.0%)	38 (33.0%)	13 $\chi^2=19.86^{**}$
魔法陣グルグル	36 (39.6%)	29 (31.9%)	26 (28.6%)	37 (35.2%)	26 (24.8%)	42 (40.0%)	46 (41.4%)	27 (24.3%)	38 (34.2%)	33
機動武闘伝 G ガンダム	60 (64.5%)	23 (24.7%)	10 (10.8%)	57 (55.3%)	30 (29.1%)	16 (15.5%)	78 (72.9%)	21 (19.6%)	8 (7.5%)	37
ドラエもん	3 (2.9%)	27 (26.0%)	74 (71.2%)	6 (5.4%)	41 (36.9%)	64 (57.7%)	17 (14.9%)	54 (47.4%)	43 (37.7%)	11 $\chi^2=29.26^{**}$
勇者警察ジェイデッカー	56 (62.2%)	24 (26.7%)	10 (11.1%)	62 (59.6%)	31 (29.8%)	11 (10.6%)	83 (79.0%)	19 (18.1%)	3 (2.9%)	41 $\chi^2=11.91^*$
スラムダンク	8 (8.2%)	42 (42.9%)	48 (49.0%)	12 (11.1%)	30 (27.8%)	66 (61.1%)	14 (12.1%)	29 (25.0%)	73 (62.9%)	18
美少女戦士セーラームーン	9 (9.0%)	33 (33.0%)	58 (58.0%)	24 (22.4%)	36 (33.6%)	47 (43.9%)	38 (33.3%)	38 (33.3%)	38 (33.3%)	19 $\chi^2=21.56^{**}$
ママレード・ボーイ	18 (18.6%)	33 (34.0%)	46 (47.4%)	26 (24.3%)	34 (31.8%)	47 (43.9%)	31 (26.5%)	42 (35.9%)	44 (37.6%)	19
ど根性ガエル	67 (75.3%)	18 (20.2%)	4 (4.5%)	70 (70.0%)	25 (25.0%)	5 (5.0%)	72 (66.7%)	32 (29.6%)	4 (3.7%)	43
巨人の星	62 (69.7%)	25 (28.1%)	2 (2.2%)	68 (65.4%)	30 (28.8%)	6 (5.8%)	64 (59.3%)	36 (33.3%)	8 (7.4%)	39
それいけ!アンパンマン	52 (54.7%)	39 (41.1%)	4 (4.2%)	69 (67.0%)	33 (32.0%)	1 (1.0%)	82 (76.6%)	25 (23.4%)	0 (0.0%)	35 $\chi^2=14.45^{**}$
魔法戦士レイアース	68 (76.4%)	8 (9.0%)	13 (14.6%)	72 (69.9%)	15 (14.6%)	16 (15.5%)	75 (68.8%)	14 (12.8%)	20 (18.3%)	39
ヨーヨーの猫つまみ	88 (98.9%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	99 (98.0%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	101 (95.3%)	4 (3.8%)	1 (0.9%)	44

**P<0.01 *P<0.05 df=4

〔表9〕テレビアニメ番組の視聴状況 性別

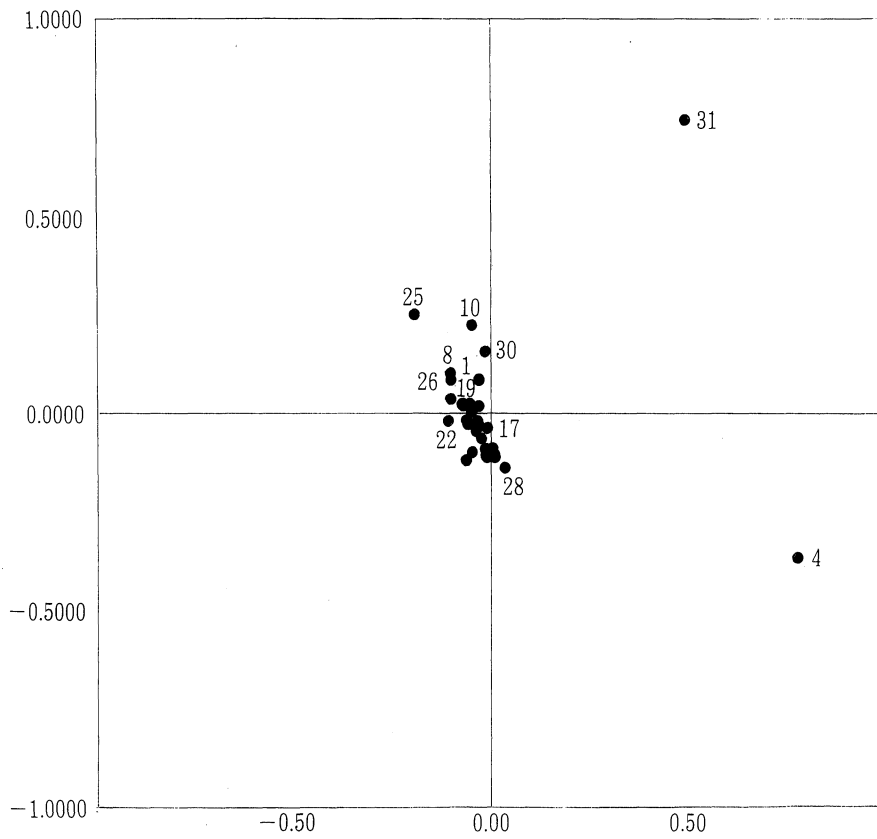
人 (%)

	男 児			女 児			NA
	みていない	時間による	毎回必ず	みていない	時間による	毎回必ず	
おんぶおばけ	126 (90.6%)	13 (9.4%)	0 (0.0%)	134 (87.6%)	18 (11.8%)	1 (0.7%)	47
とんでぶーりん	90 (62.1%)	37 (25.5%)	18 (12.4%)	64 (40.5%)	64 (40.5%)	30 (19.0%)	36 $\chi^2=14.08^{**}$
ヤマトタケル	70 (48.3%)	59 (40.7%)	16 (11.0%)	112 (71.8%)	43 (27.6%)	1 (0.6%)	38 $\chi^2=25.07^{**}$
マクロス7	129 (90.8%)	11 (7.7%)	2 (1.4%)	150 (96.8%)	4 (2.6%)	1 (0.6%)	42
ドラゴンボール	32 (21.6%)	90 (60.8%)	26 (17.6%)	72 (45.9%)	76 (48.4%)	9 (5.7%)	34 $\chi^2=24.58^{**}$
サザエさん	17 (11.0%)	94 (61.0%)	43 (27.9%)	14 (8.2%)	103 (60.2%)	54 (31.6%)	14
ドラゴンボールZ	16 (10.3%)	61 (39.4%)	78 (50.3%)	55 (34.4%)	80 (50.0%)	25 (15.6%)	24 $\chi^2=51.19^{**}$
姫ちゃんのリボン	102 (71.8%)	39 (27.5%)	1 (0.7%)	56 (34.4%)	89 (54.6%)	18 (11.0%)	34 $\chi^2=46.91^{**}$
キャプテン翼J	60 (39.5%)	51 (33.6%)	41 (27.0%)	109 (68.1%)	37 (23.1%)	14 (8.8%)	27 $\chi^2=29.50^{**}$
母を尋ねて三千里	123 (86.0%)	18 (12.6%)	2 (1.4%)	123 (78.8%)	30 (19.2%)	3 (1.9%)	40
ドラゴンクエスト	91 (62.8%)	46 (31.7%)	8 (5.5%)	135 (87.7%)	18 (11.7%)	1 (0.6%)	40 $\chi^2=26.01^{**}$
幽遊白書	48 (32.7%)	58 (39.5%)	41 (27.9%)	79 (50.3%)	61 (38.9%)	17 (10.8%)	35 $\chi^2=17.26^{**}$
ツヨシしっかりしなさい	29 (19.1%)	84 (55.3%)	39 (25.7%)	32 (19.3%)	81 (48.8%)	53 (31.9%)	21
キテレツ大百科	28 (18.7%)	82 (54.7%)	40 (26.7%)	33 (20.1%)	95 (57.9%)	36 (22.0%)	
七つの海のティコ	52 (34.9%)	59 (39.6%)	38 (25.5%)	35 (21.2%)	64 (38.8%)	66 (40.0%)	25 $\chi^2=10.27^{**}$
キャプテン翼	65 (43.9%)	60 (40.5%)	23 (15.5%)	104 (66.7%)	41 (26.3%)	11 (7.1%)	35 $\chi^2=16.61^{**}$
となりのたまげ太くん	130 (93.5%)	9 (6.5%)	0 (0.0%)	150 (97.4%)	4 (2.6%)	0 (0.0%)	
クレヨンしんちゃん	17 (11.0%)	39 (25.2%)	99 (63.9%)	19 (11.0%)	53 (30.6%)	101 (58.4%)	11
クッキングパパ	24 (15.4%)	66 (42.3%)	66 (42.3%)	14 (8.2%)	77 (45.3%)	79 (46.5%)	
魔法陣グルグル	52 (35.1%)	41 (27.7%)	55 (37.2%)	66 (41.8%)	41 (25.9%)	51 (32.3%)	33
機動武闘伝 G ガンダム	67 (45.3%)	52 (35.1%)	29 (19.6%)	127 (82.5%)	22 (14.3%)	5 (3.2%)	37 $\chi^2=47.56^{**}$
ドラエもん	12 (7.7%)	55 (35.3%)	89 (57.1%)	14 (8.1%)	67 (39.0%)	91 (52.9%)	11
勇者警察ジェイデッカー	75 (52.1%)	49 (34.0%)	20 (13.9%)	125 (81.2%)	25 (16.2%)	4 (2.6%)	41 $\chi^2=30.65^{**}$
スラムダンク	13 (8.4%)	38 (24.5%)	104 (67.1%)	20 (12.0%)	63 (38.0%)	83 (50.0%)	18 $\chi^2=9.67^{**}$
美少女戦士セーラームーン	56 (37.6%)	64 (43.0%)	29 (19.5%)	14 (8.2%)	43 (25.1%)	114 (66.7%)	19 $\chi^2=78.71^{**}$
ママレード・ボーイ	58 (38.9%)	62 (41.6%)	29 (19.5%)	16 (9.4%)	47 (27.5%)	108 (63.2%)	19 $\chi^2=70.28^{**}$
ど根性ガエル	93 (65.5%)	44 (31.0%)	5 (3.5%)	115 (74.7%)	31 (20.1%)	8 (5.2%)	43
巨人の星	70 (47.9%)	65 (44.5%)	11 (7.5%)	123 (79.9%)	26 (16.9%)	5 (3.2%)	25 $\chi^2=33.33^{**}$
それいけ!アンパンマン	98 (67.6%)	45 (31.0%)	2 (1.4%)	104 (65.4%)	52 (32.7%)	3 (1.9%)	
魔法戦士レイアース	117 (83.0%)	11 (7.8%)	13 (9.2%)	97 (61.0%)	26 (16.4%)	36 (22.6%)	39 $\chi^2=17.73^{**}$
ヨーヨーの猫つまみ	137 (97.2%)	3 (2.1%)	1 (0.7%)	150 (97.4%)	4 (2.6%)	0 (0.0%)	44

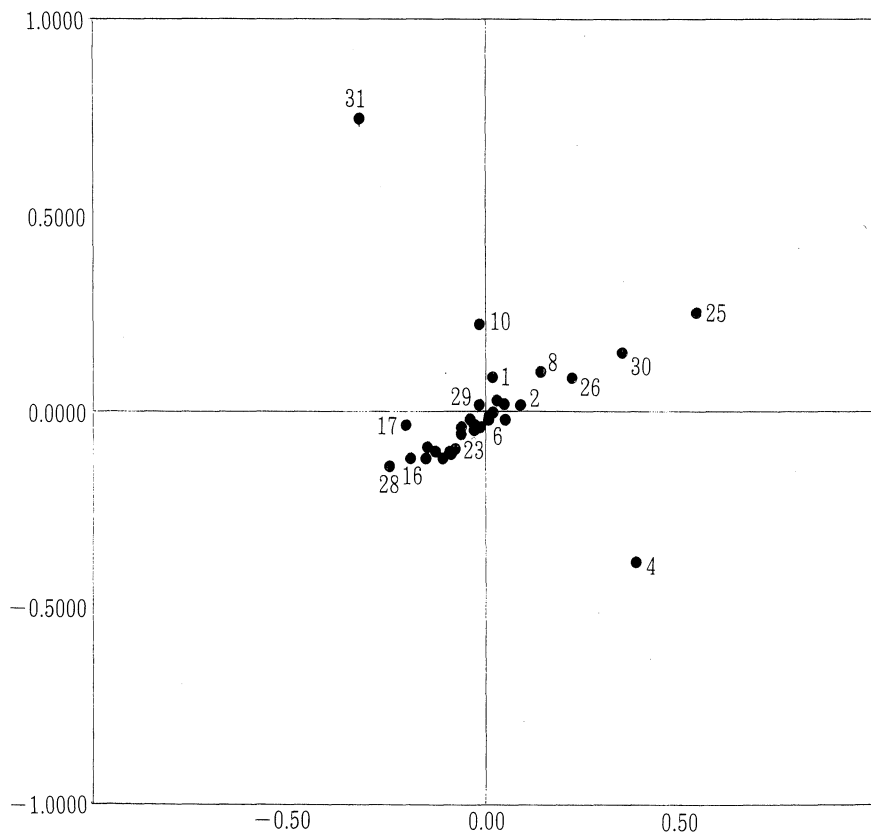
** P<0.01 * P<0.05 df=2

〔表10〕現在放映されているテレビアニメ・数量化Ⅳ類

	1 軸	2 軸	3 軸
	固有値 -3.2102	-3.5287	-4.3718
1. おんぶおばけ	0.0876	-0.0268	0.0181
2. とんでぶーりん♡	0.0193	-0.0347	0.0927
3. ヤマトタケル	-0.0996	0.0073	-0.0738
4. マクロス7	-0.3804	0.7989	0.3809
5. ドラゴンボール	-0.1170	-0.0202	-0.1581
6. サザエさん	-0.0215	-0.0592	0.0106
7. ドラゴンボール Z	-0.1174	-0.0043	-0.1123
8. 姫ちゃんのリボン	0.1029	-0.0978	0.1447
9. キャプテン翼 J	-0.1086	-0.0489	-0.1254
10. 母を尋ねて三千里	0.2239	-0.0434	-0.0148
11. ドラゴンクエスト	-0.0913	-0.0119	-0.1393
12. 幽遊白書	-0.1174	0.0137	-0.0980
13. ツヨシしっかりしなさい	-0.0091	-0.0453	0.0238
14. キテレツ大百科	-0.0411	-0.0499	-0.0105
15. 七つの海のティコ	0.0223	-0.0718	0.0567
16. キャプテン翼	-0.1238	-0.0614	-0.1878
17. となりのたまげ太くん	-0.0355	-0.0023	-0.2176
18. クレヨンしんちゃん	-0.0205	-0.0703	0.0501
19. クッキングパパ	0.0301	-0.1072	0.0374
20. 魔法陣グルグル	-0.0217	-0.0396	0.0421
21. 機動武闘伝 G ガンダム	-0.1155	0.0087	-0.0936
22. ドラエもん	-0.0231	-0.1055	0.0108
23. 勇者警察ジェイデッカー	-0.0651	-0.0207	-0.0603
24. スラムダンク	-0.0585	-0.0484	-0.0375
25. 美少女戦士セーラームーン	0.2501	-0.1896	0.5382
26. ママレード・ボーイ	0.0859	-0.1041	0.2193
27. ど根性ガエル	-0.0397	-0.0272	-0.0620
28. 巨人の星	-0.1416	0.0332	-0.2474
29. それいけ!アンパンマン	0.0243	-0.0517	-0.0158
30. 魔法騎士レイアース	0.1568	-0.0144	0.3516
31. ヨーヨーの猫つまみ	0.7455	0.4946	-0.3229



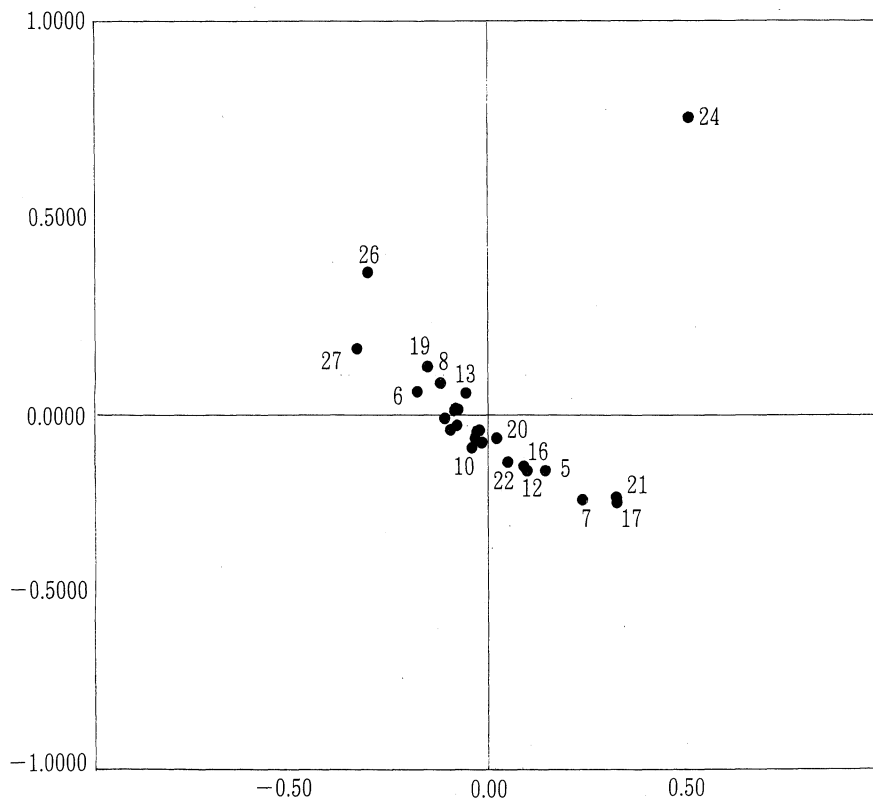
〔図1〕 児童テレビアニメ視聴度合い数量化IV類による固有ベクトル
縦：1軸 横：2軸



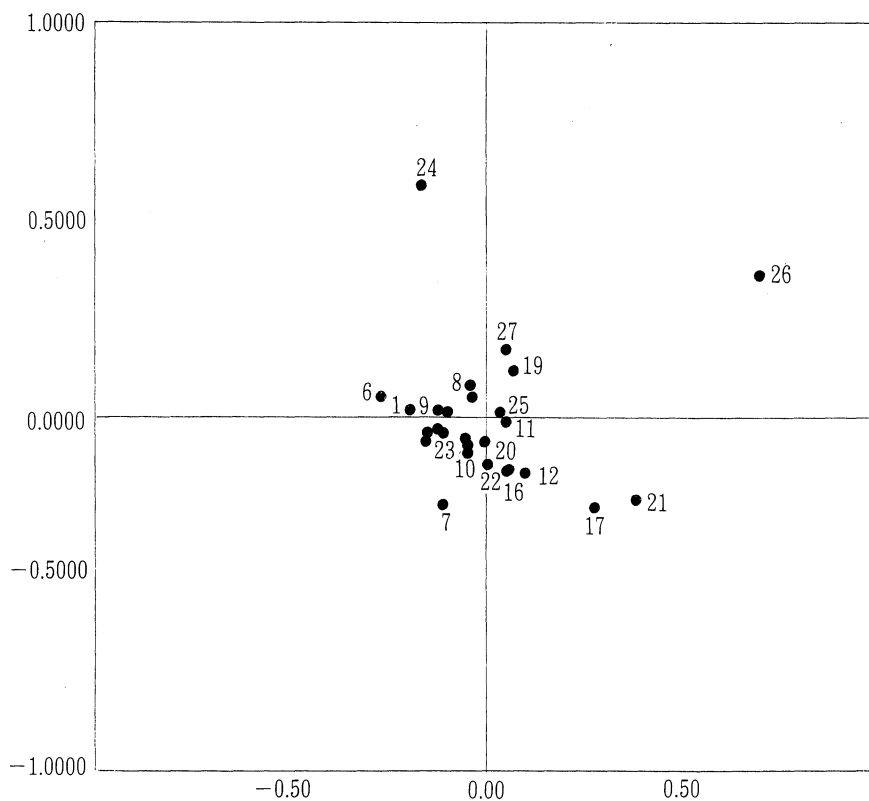
〔図2〕 児童テレビアニメ視聴度合い数量化IV類による固有ベクトル
縦：1軸 横：3軸

〔表11〕保護者の子どもたちのテレビアニメ数量化IV類

	1 軸		2 軸		3 軸	
	固有値					
1. 鉄わんアトム	0.0207	-0.9440	-0.0845	-1.1173	-0.1956	-1.1439
2. 鉄人28号	-0.0374		-0.0184		-0.1063	
3. エイトマン	-0.0597		-0.0363		-0.1493	
4. 狼少年ケン	-0.0792		-0.0149		-0.0459	
5. 風のふじまる	-0.1441		0.1489		0.0639	
6. ジャングル大帝	0.0567		-0.1787		-0.2762	
7. ハリスの風	-0.2166		0.2310		-0.1127	
8. 魔法使いサリー	0.0838		-0.1275		-0.0474	
9. パーマン	0.0205		-0.0942		-0.1227	
10. マッハ GoGoGo	-0.0869		-0.0332		-0.0591	
11. リボンの騎士	-0.0114		-0.1062		0.0496	
12. ビヨンビヨン丸	-0.1431		0.1019		0.0972	
13. ゲゲゲの鬼太郎	0.0519		-0.0535		-0.0381	
14. 怪物くん	0.0122		-0.0805		-0.1016	
15. サスケ	-0.0479		-0.0272		-0.0553	
16. 夕焼け番長	-0.1390		0.0984		0.0524	
17. 佐武と市捕り物控え	-0.2282		0.3238		0.2786	
18. 妖怪人間ベム	-0.0468		-0.0940		-0.1587	
19. ひみつのアッコちゃん	0.1214		-0.1523		0.0655	
20. モーレツアたろう	-0.0607		0.0229		-0.0078	
21. どろろ	-0.2127		0.3258		0.3814	
22. カムイ外伝	-0.1186		0.0558		-0.0044	
23. タイガーマスク	-0.0295		-0.0783		-0.1267	
24. サザエさん	0.7529		0.5939		-0.1638	
25. ハクション大魔王	0.0152		-0.0870		0.0344	
26. ムーミン	0.3599		-0.3011		0.6951	
27. アタックNo.1	0.1669		-0.3348		0.0534	



〔図3〕保護者の子供のころのテレビアニメ視聴度合い固有ベクトル
縦：1軸 横：2軸



〔図4〕保護者の子供のころのテレビアニメ視聴度合い固有ベクトル
縦：1軸 横：3軸

(4) 好きなキャラクターの有無と生活の中での関わり

性別、学年別のクロス集計と差の検定を行ったが、性別では有意な差がでなかった。学年別には有意な差がみられる〔表12〕〔表13〕。

〔表12〕好きなキャラクター 学年別 人 (%)

	あ る		な い	
	人	(%)	人	(%)
1 年 生	73	(78.5%)	20	(21.5%)
3 年 生	76	(78.4%)	21	(21.6%)
5 年 生	47	(46.1%)	55	(53.9%)
計	196	(67.1%)	96	(32.9%)

$$\chi^2=31.46 \quad P<0.01 \quad df=2$$

〔表13〕キャラクターに関する行動 学年別

	1 年 生			3 年 生			5 年 生			NA	
	殆どない	時々ある	よくある	殆どない	時々ある	よくある	殆どない	時々ある	よくある		
身の周りの物をほしがる	37 (39.4%)	40 (42.6%)	17 (18.1%)	48 (44.0%)	53 (48.6%)	8 (7.3%)	83 (73.5%)	22 (19.5%)	8 (7.1%)	24	$\chi^2=35.66$ **
関連したグッズを集める	24 (24.5%)	52 (53.1%)	22 (22.4%)	37 (34.9%)	50 (47.2%)	19 (17.9%)	59 (50.9%)	46 (39.7%)	11 (9.5%)	20	$\chi^2=18.00$ **
よく話題にのぼらせる	33 (34.4%)	56 (58.3%)	7 (7.3%)	44 (41.1%)	59 (55.1%)	4 (3.7%)	63 (54.8%)	49 (42.6%)	3 (2.6%)	22	$\chi^2=10.93$ *
言葉・動作・活動を まねて遊ぶ	31 (31.6%)	52 (53.1%)	15 (15.3%)	60 (56.6%)	37 (34.9%)	9 (8.5%)	87 (77.0%)	24 (21.2%)	2 (1.8%)	23	$\chi^2=45.91$ **
絵を描いたり描いて ほしがる	35 (38.0%)	40 (43.5%)	17 (18.5%)	40 (39.2%)	49 (48.0%)	13 (12.7%)	76 (67.3%)	31 (27.4%)	6 (5.3%)	33	$\chi^2=25.99$ **
関連した玩具をほしがる	48 (51.6%)	32 (34.4%)	13 (14.0%)	62 (57.9%)	33 (30.8%)	12 (11.2%)	84 (75.0%)	25 (22.3%)	3 (2.7%)	28	$\chi^2=15.88$ **

** P<0.01 * P<0.05 df=4

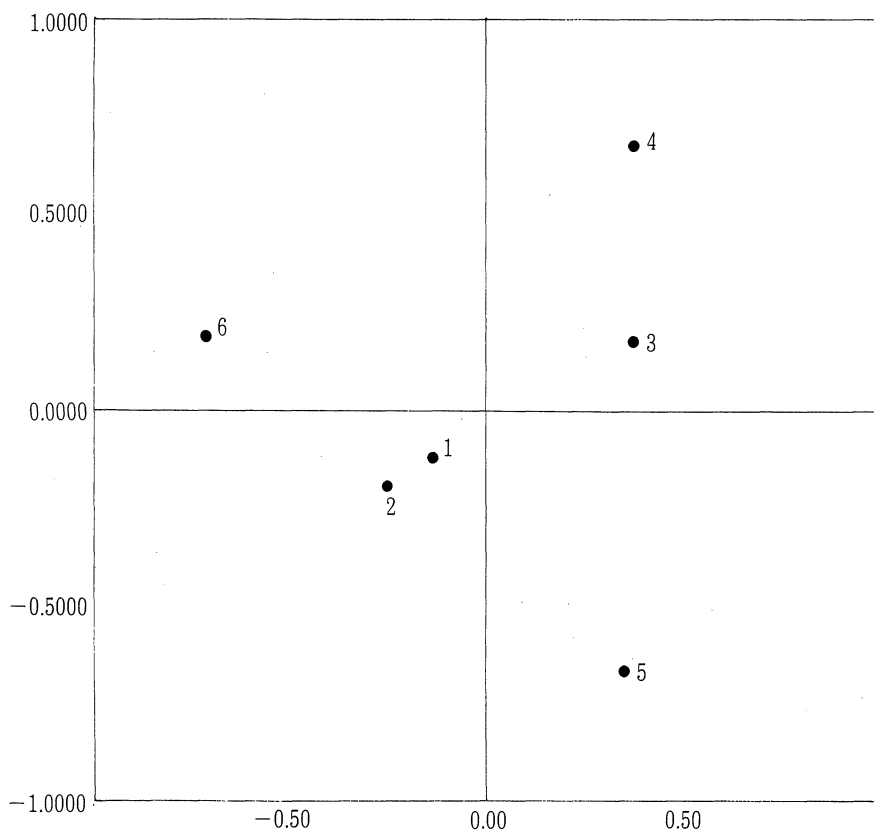
好きなキャラクターの有無、生活の中での行動ともに、1年生に比べ、5年生では、「ない」「殆どない」の割合が高く、「ある」「よくある」の割合が低くなっている。高学年になると、幼児期から引き継いできたような生活の中で目に見える行動は少なくなってくると考えられる。しかしそれだけ内面的になっていくと考えられるので、直接には必ずしもすぐ現れるものでない取り入れの仕方を把握していくことが今後必要である。

好きなキャラクターに関する生活の中での行動の項目を、同じく一人の子供がよくする場合その項目間の親近性が高いと考えて数量化Ⅳ類にかけた結果〔表14〕〔図5〕である。〔身の周りの物（肌着や文具など）をほしがる〕と〔関連したグッズを集める〕が同じグループに括ることができる。

多少生活実感と一致している結果がみられたが、一人の子供が視聴する番組は必ずしもその子の好みだけを直接的に反映するものでなく、多少違った趣の番組でもそれぞれに面白さを感じていることもあるし、また生活時間に規制されて見たり見なかったりする番組もあると考えられる。今後こうした点を配慮してグループ分けの方法を探していくことが必要である。

〔表14〕好きなキャラクターとの関わり・数量化Ⅳ類

	1 軸	2 軸	3 軸
	固有値 -3.8489	-4.0013	-4.3929
1 身の周りの物をほしがる	-0.1252	-0.1312	0.2831
2 関連したグッズを集める	-0.1996	-0.2519	0.2741
3 よく話題にのぼらせる	0.1722	0.3799	0.6090
4 言葉・動作・活動をまねて遊ぶ	0.6468	0.3701	-0.4303
5 絵を描いたり描いてほしがる	-0.6797	0.3507	-0.4625
6 関連した玩具をほしがる	0.1855	-0.7177	-0.2735

〔図5〕好きなキャラクターとの関わり・数量化Ⅳ類固有ベクトル
縦：1軸 横：2軸

(5) 保護者の児童に対する注意や制限と保護者の感想

保護者の児童に対してのマンガ、テレビアニメ、VTR などに関する制限や注意、保護者が子供の頃のものと比較しての感想ともに、その他を含む選択肢を用意し回答を求めた。性別、学年別ともに有意な傾向はみられなかった。単純集計の結果を〔表15〕と〔表16〕に示す。

制限や注意について、「全く自由」を選択した者は9.1%で1割に満たない。選択の多かったのは「読んだり見るのは自由だが、悪い言葉や活動のまねは禁じている」「必ず宿題や勉強を済ませてから読んだり見させたりしている」で、それぞれ42.4%、30.0%である。

〔表15〕マンガやテレビアニメ、VTR についての保護者の注意や制限

	選択者数 (%)
全く自由	31 (9.1)
こづかいや友達付き合いの範囲で自由に	40 (11.8)
時々注意してみ、好ましくないものを禁ずる	94 (27.6)
好ましいものを保護者が選択して見せる	30 (8.8)
読んだり見るのは自由、悪い言葉のまね等は禁じている	144 (42.4)
必ず宿題や勉強を済ませてから	102 (30.0)
見る時間や本数、読む冊数を決めている	49 (14.4)
その他	20 (5.9)

複数回答 N=340

〔表16〕保護者が子供の頃と現代のマンガ、TV アニメと比較しての感想

	選択者数 (%)
絵がかっこよく (かわいく) なった	152 (44.7)
ストーリーが重厚になった	32 (9.4)
キャラクターが個性的になった	113 (33.2)
絵が技巧的になった	94 (27.0)
過激な表現が増えた	212 (62.4)
教育上好ましくないものが多くなった	125 (36.8)
ストーリーに夢がなくなった	81 (23.8)
低俗になった	54 (15.9)
その他	54 (15.9)

複数回答 N=340 NA=1

〔表17〕保護者による制限と現代のマンガ等への感想

感 想	視 聴 へ の 制 限	
	全く自由	“自由” 以外
絵がかっこよく (かわいく) なった	25 (83.3%)	127 (42.9%)
ストーリーが重厚になった	3 (10.0%)	29 (9.8%)
キャラクターが個性的になった	13 (43.3%)	100 (33.8%)
過激な表現が増えた	18 (60.0%)	194 (65.5%)
教育上好ましくないものが多くなった	7 (23.3%)	118 (39.9%)
ストーリーに夢がなくなった	5 (16.7%)	76 (25.7%)
低俗になった	1 (3.3%)	53 (17.9%)
その他	3 (10.0%)	51 (17.2%)

複数回答 N=340 NA=14 $\chi^2=18.41$ df=8 P<0.05

保護者の子供の頃のマンガやテレビアニメ番組と比較しての感想としては、全体で「過激な表現が増えた」が最も多く、62.4%が選択している。次いで「絵がかっこよく (かわいく) なった」「教育上好ましくないものが多くなった」がそれぞれ、44.7%、36.8%「キャラクターが個性的になった」33.2%である。

保護者の児童に対するマンガやテレビアニメに関する制限や注意について「全く自由」を選択した者と選択しなかった者で比較すると「全く自由」を選択した者では選択しなかった者に

比べ「絵がかっこよく(かわいく)なった」「キャラクターが個性的になった」と好意的な評価の割合が高く、「教育上好ましくないものが多くなった」「ストーリーに夢がなくなった」「低俗になった」等の否定的な項目の割合が低い傾向がみられる。但し、「過激な表現が増えた」の選択については、自由にさせていると回答した者もそうでない者も割合はともに60%代である。

Ⅲ. まとめ

以上、主な結果を挙げてみると次のような点を挙げることができる。

- ・購入した雑誌について、低学年では本体よりも付録を楽しみにしている子供が30%近くいるが、学年が進むに従って全部を繰り返ししっかり読む子供の割合が高くなり、70%を越える。
- ・テレビアニメ番組の半数近くは、学年によって、性別によって好まれ方にはっきりした傾向がみられる。学年別の傾向としては、学年が進むに従って「毎回楽しみにして必ずみる」割合は減る傾向がみられた。また好きなキャラクターに関する生活の中への取り入れも学年が進むにつれ、明らかに外からみえるような行動の割合は減っていく。
- ・保護者は、子供のマンガ・テレビアニメに何らかの制限や注意などの介入をしている者が、全く自由にさせている者より多いが、内容を問題にするよりも時間や勉強などとの関係で制限する者のほうが多い傾向がみられる。また、全く自由にさせている場合は、そうでない場合と比べ現代のマンガやテレビアニメに対して好意的な評価をしている者の割合が高い。
- ・一人の対象が選択した項目は親近性があると仮定して、①調査時の放映テレビアニメ番組、②1960年代に放映された主なテレビアニメ番組、③マンガやテレビアニメの中の好きなキャラクターを生活の中でどのように取り入れているか、の3点について数量化Ⅳ類によってグループ化を試みた結果、ある程度生活実感と一致する結果も得られたが、実際の子供の取り入れ方に影響する要因を考慮することが必要である。また、小学校高学年に向かっては内面的になっていくと考えられるのでこうした様子をどのように把握するかの方法も検討していく必要がある。

こうした結果をさらにまとめてみると、小学校の、特に中学年から高学年にかけて、マンガやテレビとの関わり方が質的に変化し内面的なものになっていくのではないかと考えられる。発達段階によって子供が取り入れるもの、取り入れ方が異なるのも当然であるがこうした点も含め、子供に取り入れられ易さが反映するようなマンガやアニメ番組の分類方法を今後工夫していくことが課題である。

謝 辞

この調査に関しまして、快くご協力下さり、また、有益なご教示ご示唆を下さいました、小学校の校長先生、教頭先生、担任の先生方、また児童と保護者の方々に深く感謝いたします。

参 考 文 献

- 1) 松村康平編 児童理解の方法 朝倉書店
- 2) 斉藤次郎 こども漫画の世界 現代書館 1989
- 3) 石子順 新マンガ学 毎日新聞社 1978
- 4) 毎日新聞社 読書世論調査 1970年版 毎日新聞社 1970
- 5) " " 1971 " 1971
- 6) " " 1972 " 1972
- 7) " " 1973 " 1973
- 8) " " 1985 " 1985
- 9) 武藤隆編 テレビと子どもの発達 東京大学出版会 1987
- 10) 村山貞雄編 日本の幼児の成長・発達に関する総合調査 サンマーク出版 1987
- 11) 池山和子・平田睦美 幼児の生活とテレビ 鹿大教育学部研究紀要 43 95-109 1991
- 12) 池山和子・千葉智子 幼児とテレビの関わりについて " 46 99-107 1995
- 13) 菅民郎 多変量解析の実践上下 現代数学社 1993